

## 入学選抜方法の妥当性：2016～2018年度入学生の個票データを用いた検証

Is the Admission Selection Method Appropriate?  
: empirical analysis using microdata for students admitted in 2016–2018

岩本 光一郎<sup>1</sup>・杉谷 正次<sup>2</sup>・水野 伸子<sup>3</sup>・三輪 哲也<sup>4</sup>・  
小島 正憲<sup>5</sup>・白井 克尚<sup>6</sup>・安井 文康<sup>7</sup>・吉村 道孝<sup>8</sup>

Koichiro Iwamoto<sup>1</sup>・Masatsugu Sugitani<sup>2</sup>・Nobuko Mizuno<sup>3</sup>・Tetsuya Miwa<sup>4</sup>・  
Masanori Kojima<sup>5</sup>・Katsuhisa Shirai<sup>6</sup>・Fumiyasu Yasui<sup>7</sup>・Michitaka Yoshimura<sup>8</sup>

1 愛知東邦大学経営学部 2 愛知東邦大学経営学部 3 愛知東邦大学教育学部  
4 愛知東邦大学入試広報課 5 愛知東邦大学人間健康学部 6 愛知東邦大学教育学部  
7 愛知東邦大学地域・国際交流課 8 愛知東邦大学人間健康学部

### 要 旨

本稿では、2016～2018年度の三年間に本学に入学した、すなわち概ね2020～2022年3月に本学を卒業した学生の個票データを用いて、「入試方式の違いが卒業時の学力および卒業確率にどう影響を与えているか」について検証している。入学後の学力と入試方式の関係をトービットモデル、卒業確率と入試方式の関係を順序プロビットモデルで分析することにより得られた主要な結論は、入試選抜方式間で卒業時学力・卒業確率には残念ながら統計的に有意な差が存在するということである。ただ同時に、一年毎の分析結果の比較から、その差が直近では小さくなる傾向にあることも示唆されている。

### 1. はじめに

我々は2020年より三年間、本学にとってより相応しい入学選抜方式への改善に資する情報を得ることを目的に、本学に在籍する学生の個票データを用いて入試方式の違いが、卒業時の学力および卒業確率にどう影響を与えているかを検証してきた。本来の在り方としては、入試方式にかかわらず、入学後の学力や退学率などに差がないことが望ましいが、現実にそうなっているかどうかのチェックを、統計的に行ったのである。

本稿では、2016～2018年度の三年間に入学した、すなわち概ね2020～2022年3月に卒業した学生の情報を用いて行っ

---

1 愛知東邦大学経営学部、入試委員  
2 愛知東邦大学経営学部、入試委員長  
3 愛知東邦大学教育学部、入試副委員長  
4 愛知東邦大学入試広報課、入試副委員長  
5 愛知東邦大学人間健康学部、入試委員  
6 愛知東邦大学教育学部、入試委員  
7 愛知東邦大学地域・国際交流課、入試委員  
8 愛知東邦大学人間健康学部、入試委員

たこれまでの検証を総括し、ある程度まとまった期間の傾向について検討している。大まかな結論としては、入試選抜方式間で卒業時学力・卒業確率には残念ながら統計的に有意な差が存在しているということになる。ただ、各年比較の結果からはその差が小さくなる傾向にあることも同時に判明している。

なお本節以降の本稿の構成は次の通りである。2節において分析の方針、すなわち検証に使用するデータと推定モデルについて言及し、3節において推定結果とその考察を示す。そして4節において、考察結果に基づく結論と残された課題について述べる。

## 2. 分析の方針

### 2.1 データ

我々が検証に使用したのは、本学教務課から提供された、2022年3月末時点における本学学生の個票データ（2016～2018年度入学生分）である。すなわち、基本的には本学で4年間の大学生活を過ごした学生を分析の対象としている。なお、分析に使用した主要な変数は、該当学生の入試方法（20区分の質的変数）、卒業時の学力の代理変数であるGPA（数量変数）、卒業や退学など該当学生の在籍状態（5区分の質的変数）である。それ以外に、出身高校偏差値（数量変数）や所属学科（4区分の質的変数）、入学時に所属していた強化指定クラブ（5区分の質的変数、2017・2018年度入学者のみ）など該当学生の諸属性を推定におけるコントロール変数として使用した。

なお、出身高校偏差値は教務課ではなくポータルサイト『みんなの高校情報<sup>9</sup>』のものを利用した。ただし、一部の学生は定時制や通信制高校、また海外の学校など、基本的に偏差値が存在していない学校の出身者であり、該当学生の“出身高校偏差値”については、これらの学校と直接、接触の機会が多い入試広報課により、主観的にこれらの学校に偏差値を割り付けてもらうことで分析に取り入れている<sup>10</sup>。これら、検証に使用した変数の基本統計量の一覧は、各年毎に附表1（稿末添付）に掲載している。

### 2.2 分析方法

我々は入試方法の妥当性について検証するため、入試方法の違いと学力・在籍状況の間に、なんらかの相関的な関係があるかどうかを統計的に分析した。その分析方針は以下の通りである。なお以下の文中にあるトービットモデルと順序プロビットモデルについては牧他（1997）に詳しい。

①**学力と入試方式の関係**：GPAを被説明変数、入試方式（ダミー変数で表現）を説明変数とする回帰分析を行った。

なお、所属学科など諸属性をコントロール変数として説明変数に加えた。また推定方法は、平均GPAが0未満と4超が存在しない変数であり、打ち切り回帰となるため、トービットモデルを採用した。

②**卒業確率と入試方式の関係**：その学生が、卒業・在学・退学など、いずれのカテゴリーに所属するかを示す**在籍状況**を被説明変数、入試方式（ダミー変数で表現）を説明変数とする回帰分析を行った。①と同じく、諸属性

9 <https://www.minkou.jp/hischool/>（参照日：2020年8月25日）

10 我々、入試委員会が恣意的に操作したのではなく、高校のレベルについて知見を持つ入試広報課に評価してもらったものの、やはり完全な客観性が担保されているとは言い難いのは事実であり、この点の改善については今後の課題としたい。ただ、今回の推定結果と、該当学校の所属情報をダミー変数処理した推定結果をいくつか比較したところ、無変数推定からの対数尤度の改善具合を示す擬似決定係数（Pseudo R-Squared）は両結果間でほぼ同じような値であり、推定モデルの予測値がデータを説明している割合に大差はなかった。

をコントロール変数として説明変数に加えている。なお、被説明変数である在学状況は二つ以上の選択肢を持ち、「卒業→在学→退学」という順序で状態が悪化していると見ることが出来る序数的な質的変数であると考え、推定方法として順序プロビットモデルを採用した。

### 3. 推定結果

#### 3.1 学力と入試方式の関係

推定結果は附表2（稿末添付）に掲載している。そして附表2から、一般AO方式による入学者の成績を基準として、GPAに統計的に有意な影響を与えている入試方法をまとめると、以下の表1の通りとなった（表中、黒塗り部分は該当受験者なし）。

表1 卒業／退学時GPAに影響を与える入試方式：基準は一般AO

	提携 AO	内部 AO	STEP	セン ター	一般	提携 一般	内部 一般	スポ音・内部強化				公募専	公募併	指定校	提携 指定	内部 指定	自己	再入学 ・編入	社会人 ・同窓生	留学生	留学生 編入	
								野球部	女子サ	吹奏楽	男子サ											
2016～2018年度	-							-													+	
2016年度							+	+						+	+						+	
2017年度	-	+	+				+		+	+					+				+	+	+	
2018年度	-																					

表中、+は学力が一般AO入試による入学者より有意に高く、-は逆に有意に低いことを意味している。まず三年間全体の傾向を見ると一般AO方式による入学者の成績を基準として、以下のことが看取できる。

- ・ 卒業時GPAが有意に低いのは提携AOと内部強化
- ・ 留学生はGPAが有意に高い

また、入試方式とは関係ないが、附表2（稿末添付）掲載の推定スペック（i）によれば、三年間全体の傾向として以下のような傾向も見られた。

- ・ 男子学生はGPAが女子学生より有意に低い
- ・ 出身高校の偏差値が高い方がGPAも高い
- ・ （ECを基準とすると）IBのGPAが有意に高い
- ・ 留年、退学、除籍、休学した学生のGPAは卒業した学生と比して有意に低い
- ・ 2018年度入学者のGPAは2016年度入学者より有意に高い

さらに、各年別の入試方式とGPAの関係について、上記の表1からは次のような傾向が見て取れる。

- ・ 2016年度は内部一般、スポーツ音楽、指定校、提携指定校、留学生のGPAが有意に高い
- ・ 2017年度は内部AO、STEP、内部一般、スポーツ音楽（女子サッカー、吹奏楽部）、提携指定校、社会人同窓生、留学編入、留学生のGPAが有意に高く、提携AOと自己推薦のGPAが有意に低い

- ・2018年度は提携AOと内部強化（男子サッカー）のGPAが有意に低い

### 3.2 卒業確率と入試方式の関係

推定結果は附表3（稿末添付）に掲載されている。この附表3から、一般AO方式を基準として、卒業率や残留率（非退学率）に統計的に有意な影響を与えている入試方法をまとめると、以下の表2の通りとなる（表中の黒塗り部分は該当受験者なし）。

表2 卒業の確率に影響を与える入試方式：基準は一般AO

	提携AO	内部AO	STEP	センター	一般	提携一般	内部一般	スポ音・内部強化				公募専	公募併	指定校	提携指定	内部指定	自己	再入学・編入	社会人・同窓生	留学生	留学生編入	
								野球部	女子サ	吹奏楽	男子サ											
2016～2018年度	-							+						+	+					+		
2016年度								+						+	+							
2017年度	-							+														
2018年度	-													+								

表中、+は卒業確率が一般AO入試による入学者より有意に高く、-は逆に有意に低いことを意味している<sup>11</sup>。まず三年間全体の傾向を見ると一般AO方式による入学者の成績を基準として、以下のことが看取できる。

- ・提携AOの卒業確率が有意に低い
- ・スポ音・内部強化・指定校・提携指定・留学生の卒業確率が有意に高い

また、入試方式とは関係ない要素であるが、三年間全体の傾向として、その他に以下のような事実も看取された。

- ・男子学生は女子学生より卒業確率が有意に低い
- ・出身高校の偏差値が高い方が卒業確率も有意に高い
- ・IBの卒業確率はECと比べて有意に低い<sup>12</sup>
- ・2018年度入学者の卒業確率は2016年度入学者より有意に高い

さらに上記の表2によれば、各年別の入試方式と卒業確率について、次のような傾向も見られている。

- ・2016年度はスポ音・指定校・提携指定校入試の卒業確率が有意に高い
- ・2017年度はスポ音（野球部）の卒業確率が有意に高く、提携AOの卒業確率が有意に低い
- ・2018年度は指定校の卒業確率が有意に高く、提携AOの卒業確率が有意に低い

11 推定パラメータの符号とは逆になるが、推定された符号そのままでは混乱しやすいとの指摘があり、表2においてはこのような表記とした。

12 附表3（稿末添付）を見るとIBダミーの推定パラメータの標準誤差が爆発的に大きくなっており、この部分の推定が上手く行っていない可能性が高いため、参考程度に解するべきであろう。これは、複数の選択肢を持つ入試方式や在学状況、所属学部学科等において、当然のことながら該当学生が均等に散らばっている訳ではなく、かなり偏りがあることの影響を受けているものと考えられる。

### 3.3 考察

ここまでの推定結果を踏まえて、以下のような事が考察される。

- ・卒業時学力にも卒業確率にも、入試方式間において統計的に有意な差が見られる：この三年間の大まかな傾向としては、提携AOはこれらが低く、留学生は高い。そしてスポーツ音楽推薦・内部強化は低い年も高い年もある。
- ・各年別に観察すると、直近である2018年度は卒業時学力・卒業確率共に、基準との間に統計的に有意な差が見られる入試方式がそれ以前より減っている：つまり、2018年度以前と比して入試方式間の差が小さくなっていると解される。また2018年度は、卒業時学力・卒業確率共にそれ以前よりも高くなっている。

## 4. おわりに：結論と今後の課題

本稿では、一般AOによる入学生を基準として、その他の入試方法による入学者との間に卒業時の学力差が見られるか、卒業確率に差があるかを検証した。その結果は上述の考察に記されている通り、①卒業時学力にも卒業確率にも、入試方式間において統計的に有意な差が見られる②入試方式間の差は以前よりは小さくなっている、というものである。

これは本来、入試方式に対して無差別であるべき部分に差が見られることになり、その意味では本学の入試方式には改善の余地があると言えよう。ただし全てを一気に改善することは無論困難であり、現在は部分部分の試みが芽を出している渦中にある。よって本学の入試改革は未だ途上にあるもの、そしてこれからも当面、継続されるべきものと解釈できよう。

このように入試改革が途上である以上、本稿で行ったような検証を今後も継続して、改革の推移を見守る必要があるだろう<sup>13</sup>。そのためにも、分析対象となる在学生の個票データは、今後も収集を続けることが望ましいものと考えられる。

最後に反省点を一つ挙げておきたい。本稿では入試という大学生活の入り口と卒業時学力・卒業確率という大学生生活の出口の関係を分析しているが、在学中の情報（例えば出席状況や予習復習に費やした時間など）を一切考慮していない。普通に考えれば、大学で頑張った学生と適当に過ごした学生の間で学力や卒業確率に差が出て当然であり、この在学中の学生生活に関する情報のコントロールが出来ていないことは、本稿の検証の大きな弱点と言えるだろう。今後、可能であるならば学修行動調査等のデータとのマージを図ることで、この点を補いたいと考えている。

### 参考文献：

- ・小野塚祐紀（2020）「誰が入学しているのか：大学難易度と推薦・AO入試の役割」RIETI Discussion Paper Series 20-J-039
- ・加藤敬子（2010）「お茶の水女子大学AO入試の現状」『高等教育と学生支援』 1
- ・西丸良一（2010）「入学者選抜方法による大学の学業成績：同志社大学社会学部を事例に」『同志社大学教育開発センター年報』 1
- ・高橋大樹・渡部博志・積田淳史・宍戸拓人（2017）「入試選抜方法と学修プロセス：大学への適応・授業への取り組み・教員のサポートに対する近くの観点から」『武蔵野大学政治経済研究所年報』 15
- ・牧厚志・宮内環・浪花貞夫・縄田和満（1997）『応用計量経済学Ⅱ』多賀出版

13 小野塚（2020）、高橋他（2017）、加藤（2010）、西丸（2010）など現状把握や大学運営に資するために、入試情報を使った検証を行っている事例はかなり存在している。

附表1. 検証に使用したデータの基本統計量一覧

入学年度	2016年度入学					2017年度入学					2018年度入学				
	標準規模	平均	標準偏差	最小	最大	標準規模	平均	標準偏差	最小	最大	標準規模	平均	標準偏差	最小	最大
卒業/退学時のGPA	299	1.9	0.83	0.0	3.6	342	2.0	0.93	0.0	3.8793	406	2.3	1.29	0.0	4
AO	299	0.164	0.371	0	1	344	0.128	0.334	0	1	406	0.167	0.374	0	1
提携AO	299	0.090	0.287	0	1	344	0.084	0.278	0	1	406	0.103	0.305	0	1
内部AO	299	0.054	0.225	0	1	344	0.017	0.131	0	1	406	0.005	0.070	0	1
東邦STEP	299	0.030	0.171	0	1	344	0.012	0.107	0	1	406	0.002	0.050	0	1
センター	299	0.117	0.322	0	1	344	0.174	0.380	0	1	406	0.187	0.391	0	1
一般	299	0.054	0.225	0	1	344	0.003	0.054	0	1	406	0.010	0.099	0	1
提携一般	299	0.097	0.296	0	1	344	0.116	0.321	0	1	406	0.069	0.254	0	1
内部一般	299	0.017	0.128	0	1	344	0.006	0.076	0	1	406	0.022	0.147	0	1
スボ音	299	0.027	0.162	0	1	344	0.017	0.131	0	1	406	0.015	0.121	0	1
内部強化	299	0.177	0.383	0	1	344	0.177	0.383	0	1	406	0.153	0.360	0	1
公募尊願	299	0.134	0.341	0	1	344	0.140	0.347	0	1	406	0.099	0.298	0	1
公募併願	299	0.020	0.140	0	1	344	0.017	0.131	0	1	406	0.005	0.070	0	1
指定校	299	0.003	0.058	0	1	344	0.006	0.076	0	1	406	0.030	0.170	0	1
提携指定	299	0.013	0.115	0	1	344	0.009	0.093	0	1	406	0.010	0.099	0	1
内部指定	299	0.003	0.058	0	1	344	0.009	0.093	0	1	406	0.007	0.086	0	1
自己	299	0.679	0.468	0	1	344	0.663	0.473	0	1	406	0.690	0.463	0	1
再入学・編入	299	43.7	6.2	35	65	344	44.1	6.5	35	67	406	44.7	6.5	35	68
社会人・同窓生	299	0.247	0.432	0	1	344	0.212	0.409	0	1	406	0.197	0.398	0	1
留学生	299	0.338	0.474	0	1	344	0.369	0.483	0	1	406	0.350	0.477	0	1
留学編入生	299	0.043	0.204	0	1	344	0.058	0.234	0	1	406	0.067	0.249	0	1
	299	0.371	0.484	0	1	344	0.360	0.481	0	1	406	0.387	0.488	0	1
男性ダミー	299	0.719	0.450	0	1	344	0.735	0.442	0	1	406	0.778	0.416	0	1
高校偏差値	299	0.060	0.238	0	1	344	0.070	0.255	0	1	406	0.064	0.245	0	1
学科ダミー	299	0.140	0.348	0	1	344	0.113	0.318	0	1	406	0.091	0.288	0	1
	299	0.070	0.256	0	1	344	0.078	0.269	0	1	406	0.059	0.236	0	1
在学状態ダミー	299	0.010	0.100	0	1	344	0.003	0.054	0	1	406	0.007	0.086	0	1
	299	0.450	0.450	0	1	344	0.450	0.450	0	1	406	0.450	0.450	0	1
卒業	299	0.052	0.223	0	1	344	0.052	0.223	0	1	406	0.052	0.223	0	1
在学	299	0.032	0.176	0	1	344	0.032	0.176	0	1	406	0.032	0.176	0	1
退学	299	0.006	0.076	0	1	344	0.006	0.076	0	1	406	0.006	0.076	0	1
除籍	299	0.026	0.160	0	1	344	0.026	0.160	0	1	406	0.026	0.160	0	1
休学	299	0.006	0.076	0	1	344	0.006	0.076	0	1	406	0.006	0.076	0	1
硬式野球	299	0.006	0.076	0	1	344	0.006	0.076	0	1	406	0.006	0.076	0	1
女子サッカー	299	0.006	0.076	0	1	344	0.006	0.076	0	1	406	0.006	0.076	0	1
吹奏楽	299	0.006	0.076	0	1	344	0.006	0.076	0	1	406	0.006	0.076	0	1
男子サッカー	299	0.006	0.076	0	1	344	0.006	0.076	0	1	406	0.006	0.076	0	1

\*入試方式において、「東邦STEP」は本学独自の奨学生入試を、「内部」は系列校である東邦高校を意味している。

附表2 卒退時GPAと入試方式の関係： Tobit推定による検証

入学年度	(i) 2016~2018年度入学	(ii) 2016年度入学	(iii) 2017年度入学	(iv) 2018年度入学	
入試方法ダミー (基準はAO)	提携AO	-0.298 *** (0.110)	-0.073 (0.143)	-0.293 * (0.151)	-0.391 * (0.225)
	内部AO	0.140 (0.192)	0.136 (0.183)	0.674 ** (0.269)	0.186 (0.801)
	STEP	0.469 (0.388)		0.763 ** (0.325)	-0.561 (1.117)
	センター	0.304 (0.214)	0.217 (0.219)	0.274 (0.327)	0.493 (0.528)
	一般	0.090 (0.096)	-0.058 (0.134)	0.150 (0.123)	0.168 (0.200)
	提携一般	-0.451 (0.383)	0.000 (0.000)	0.231 (0.605)	-0.766 (0.573)
	内部一般	0.040 (0.135)	0.326 * (0.183)	0.361 ** (0.171)	-0.416 (0.289)
	スポ音	-0.048 (0.664)	0.290 ** (0.142)		
	内部強化	-0.511 * (0.086)			
	公募専	-0.062 (0.249)	-0.002 (0.282)	0.385 (0.434)	0.116 (0.533)
	公募併	0.000 (0.186)	0.284 (0.230)	-0.017 (0.260)	-0.405 (0.387)
	指定校	0.013 (0.093)	0.273 ** (0.121)	0.141 (0.121)	-0.313 (0.202)
	提携指定	0.045 (0.102)	0.269 ** (0.131)	0.262 ** (0.132)	-0.082 (0.227)
	内部指定	1.002 (0.655)			0.933 (0.888)
	自己	-0.252 (0.188)	0.015 (0.261)	-0.461 * (0.274)	0.023 (0.360)
	再入学・編入	0.308 (0.490)	0.416 (0.596)	0.375 (0.436)	
	社会人・同窓生	0.008 (0.262)	0.029 (0.308)	0.711 ** (0.358)	-0.587 (0.574)
	留学生	0.729 ** (0.340)	1.292 ** (0.600)	0.633 * (0.374)	0.942 (0.729)
	留学生編入	0.105 (0.387)		0.887 ** (0.438)	-0.938 (0.701)
男性ダミー	-0.320 *** (0.060)	-0.191 ** (0.081)	-0.256 *** (0.080)	-0.345 ** (0.136)	
高校偏差値	0.019 *** (0.005)	0.016 ** (0.007)	0.021 *** (0.007)	0.015 (0.011)	
学科ダミー (基準はEC)	HH	0.088 (0.076)	-0.115 (0.098)	0.104 (0.096)	0.324 * (0.171)
	IB	0.215 * (0.131)	-0.162 (0.186)	0.118 (0.162)	0.761 *** (0.285)
	RB	-0.054 (0.076)	-0.425 *** (0.096)	-0.014 (0.100)	0.232 (0.170)
在学状態ダミー (基準は卒業)	在学	-1.245 *** (0.109)	-0.775 *** (0.151)	-1.050 *** (0.133)	-2.031 *** (0.237)
	退学	-1.822 *** (0.088)	-1.287 *** (0.104)	-1.326 *** (0.112)	-2.992 *** (0.226)
	除籍	-1.602 *** (0.107)	-1.014 *** (0.137)	-1.432 *** (0.128)	-2.348 *** (0.248)
	休学	-1.636 *** (0.325)	-0.749 ** (0.350)	-0.592 (0.602)	-3.098 *** (0.710)
指定強化クラブ (=スポ音・内部教科 の入学者)ダミー	野球部			-0.029 (0.171)	-0.455 (0.363)
	女子サッカー			0.494 ** (0.211)	0.661 (0.476)
	吹奏楽			1.029 ** (0.439)	0.357 (1.117)
	男子サッカー			-0.180 (0.220)	-0.891 *** (0.319)
入学年ダミー (基準は2016年)	2017年入学	0.069 (0.068)			
	2018年入学	0.395 *** (0.066)			
定数項	1.706 *** (0.244)	1.709 *** (0.313)	1.407 *** (0.330)	2.414 *** (0.521)	
擬似R <sup>2</sup>	0.214	0.292	0.340	0.209	
サンプルサイズ	1,047	299	342	406	

注) カッコ内は標準誤差。また、\* : 10%有意、\*\* : 5%有意、\*\*\* : 1%有意である。

附表3 在学状況と入試方式の関係： 順序プロビット推定による検証

入学年度	(i) 2016~2018年度入学	(ii) 2016年度入学	(iii) 2017年度入学	(iv) 2018年度入学
被説明変数		1：卒業、2：在学・休学、3：退学・除籍		
提携AO	0.354 ** (0.159)	-0.202 (0.297)	0.607 ** (0.309)	0.552 ** (0.251)
内部AO	-0.325 (0.343)	-0.673 (0.428)	-0.092 (0.7)	-4.166 (545.7)
STEP	0.145 (0.669)		0.541 (0.8)	-3.764 (781.7)
センター	-0.413 (0.378)	-0.561 (0.507)	0.261 (0.8)	-4.890 (326.7)
一般	-0.149 (0.149)	-0.456 (0.289)	0.139 (0.270)	-0.135 (0.247)
提携一般	-4.499 (196.4)		-4.438 (744.4)	-4.828 (381.3)
内部一般	-0.262 (0.232)	-0.230 (0.400)	-0.362 (0.445)	0.014 (0.401)
スポ音	-0.594 *** (0.189)	-0.901 *** (0.340)		
内部強化	-4.242 (147.0)			
入試方法ダミー (基準はAO)				
公募専	0.362 (0.351)	-0.241 (0.582)	0.278 (0.837)	0.750 (0.545)
公募併	-0.478 (0.325)	-0.543 (0.522)	-0.306 (0.616)	-0.590 (0.613)
指定校	-0.426 *** (0.148)	-0.545 ** (0.255)	-0.282 (0.267)	-0.574 ** (0.270)
提携指定	-0.291 * (0.159)	-0.880 *** (0.294)	-0.351 (0.292)	0.249 (0.264)
内部指定	-4.162 (310.9)			-4.213 (549.3)
自己	0.125 (0.268)	-0.978 (0.628)	0.455 (0.535)	0.467 (0.383)
再入学・編入	-0.018 (0.752)	-5.212 (547.8)		
社会人・同窓生	-0.611 (0.4)	-5.132 (273.2)	0.704 (0.7)	-5.297 (375.3)
留学生	-1.223 * (0.630)	-5.285 (547.8)	-5.620 (417.2)	-0.564 (0.796)
留学生編入	-4.766 (197.2)		-4.953 (526.1)	-4.701 (449.4)
男性ダミー	0.170 * (0.100)	0.035 (0.183)	0.078 (0.187)	0.276 (0.176)
高校偏差値	-0.033 *** (0.008)	-0.022 (0.015)	-0.045 *** (0.016)	-0.048 *** (0.015)
HH	0.109 (0.124)	0.105 (0.228)	0.235 (0.228)	0.027 (0.217)
学科ダミー (基準はEC)				
IB	0.563 *** (197.2)	0.727 * (0.396)	0.733 ** (526.1)	0.360 (0.331)
RB	-0.099 (0.126)	0.214 (0.221)	-0.066 (0.238)	-0.427 * (0.223)
硬式野球			-1.132 ** (0.521)	-0.150 (0.476)
指定強化クラブ ダミー				
女子サッカー			-4.876 (220.3)	-0.009 (0.638)
吹奏楽			0.664 (0.885)	-4.012 (781.7)
男子サッカー			-0.645 (0.597)	-0.234 (0.407)
入学年ダミー (基準は2016年)				
2017年入学	-0.048 (0.108)			
2018年入学	-0.218 ** (0.107)			
擬似R <sup>2</sup>	0.071	0.057	0.119	0.120
サンプルサイズ	1,049	299	344	406

注) カッコ内は標準誤差。また、\*：10%有意、\*\*：5%有意、\*\*\*：1%有意である。